

性暴力 サバイバル ビジュアル ボイス

写真展

09/01-14

リーブラ 2F入口スペース



トーク & 朗読会

09/14(日) 14:00～16:00 1Fリーブラホール

定員80名 参加費500円 要予約 ※保育申込詳細は裏面をご覧ください

申込みはメール standstilltokyo@gmail.com or QRコードから

※個人情報取り扱いについて：ご提供いただいた個人情報は、このイベント運営及びそれに関わる連絡以外の目的には使用しません。
また本人の同意なく第三者へ提供することはありません。

会場 港区立男女平等参画センターリーブラ
東京都港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦





STAND Still東京について

2019年フォトジャーナリスト大藪順子が始めたプロジェクト「STAND Still-性暴力サバイバービジュアルボイス」に参加したメンバーが団体STAND Stillを設立。参加者の多くが東京から横浜に通っていたことを受け、都内在住の参加者で団体STAND Still東京を立ち上げた。性暴力サバイバーにとって安全とは言い難いこの社会で、自由に表現できる場を提供し、写真表現でエンパワメントを促すワークショップや展覧会を企画・運営する。

朗読会について

2024年にSTAND Stillが出版した写真集「What Became Visible After STANDING Still—その後 佇んで、見えたもの」の出版記念として、STAND Stillの作品を投影しキャプションを朗読する舞台を2024年11月に横浜で実施。今後も脚本や朗読者を変えながら各地で開催される。



ファシリテーター
大藪順子(おおやぶのぶこ)

フォトジャーナリスト。米国シカゴのコロンビア大学フォトジャーナリズム科卒業後、米国の新聞社で専属写真家として勤務する。写真プロジェクト「STAND:性暴力サバイバー達」がアメリカでテレビドキュメンタリーとなった後、全米と日本各地で展示会と講演会を展開する。著書『STAND 立ち上がる選択』フォレストブックス 2007年、共著『マスコミセクハラ白書』文藝春秋 2020年、監修『横浜(KOKO)ー「外国につながる」ではひとくくりにはできない中高生の作品集』明石書店 2021年。



【STAND Still写真展等 今後の予定】

○9月23日(火・祝) 13:30~15:00 (山口市内)
「犯罪被害後の人生に希望の光を」(写真展と同時開催)
特別対談 法医学者 高瀬泉+フォトジャーナリスト 大藪順子

○10月11日(土) 15:30~17:00 (無料観覧 14:15~15:15)
写真展&トーク in 福岡県ジェンダー平等フォーラム2025
北九州市男女共同参画センタームーブ 小セミナールーム
定員40名 参加費1000円

○10月18日(土) 13:30~16:00 犯罪被害について考える講演会
大藪順子講演+STAND Still写真展 定員100名
帝京平成大学中野キャンパス 申込 中野区役所HP

○11月22日(土) 14:00~16:00
写真展・トーク&朗読会 in 大阪
写真展: 10月20日(月)~11月25日(火)
とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

○2025年度新作写真展&ギャラリートーク
横浜市男女共同参画センターフォーラムあざみ野
ミニギャラリー 展示 11月23日(日)~12月6日(土)
ギャラリートーク 12月6日(土)午後

【保育について】 予約が必要です。
対象: 4か月~就学前(定員あり)
お子さんの性別、月年齢を明記の上、
8/27(水)までにQRコードからお申込ください。



アクセス情報

- ▶ JR「田町駅」東口(芝浦口) 徒歩5分
- ▶ 都営地下鉄浅草線 三田線「三田駅」A6出口 徒歩6分
- ▶ ちばす 芝ルート・芝浦港南ルート「みなとパーク芝浦」 徒歩0分
- 芝浦港南ルート「芝浦一丁目」 徒歩4分
- ▶ 都営バス(田92・99)「田町駅東口」 徒歩6分

写真表現活動に参加してみませんか?
STAND Still東京の参加ご希望、お問合せは
事務局まで。standstilltokyo@gmail.com

